



さんびょう 三錨

ほんき げんき こんき
本気に 元気に 根気よく
よっかいしりつとみすはらしょうがっこう
四日市市立富洲原小学校

がっこう
学校だより NO. 34
れいわ ねん がつ か
令和 5年 2月 6日

市内では、新型コロナウイルス感染症は少し収まりつつありますが、インフルエンザの流行の兆しが見られるようになってきました。引き続き、お子さんの体調管理等、お世話になります。よろしくお願いします。

●令和4年度 学校評価アンケート結果について

12月より実施させていただきました『学校評価アンケート』の結果をお知らせします。今回から、「Home & School」での回答をお願いしたところ、はじめての試みだったため、回収に時間を要してしまい、報告までに時間がかかることになってしまいました。

アンケートは「児童用」と「保護者用」の2つとなります。肯定的回答について、昨年度の結果とも照らし合わせました。昨年度より大きく差がある項目につきましては、「↓」「↑」にて記入しています。今後も、今回のアンケート結果をもとに教育活動を見直していきます。ご協力ありがとうございました。

【「児童アンケート」より(子どもたち(1年～6年)を対象にしています。)]

①授業中に友だちの考えをよく聴いていますか。	95%
②授業中に自分の考えやわからないことを発表したり伝えたりしていますか。	↓ 60%
③進んで本を読んでいますか。	70%
④学年×10分を目安に、家庭学習(宿題や自主学習等)ができていますか。	↑ 79%
⑤先生たちは、友だちと考え合ったり、話し合ったりする授業をしていますか。	92%
⑥自分にはよいところがあると思いますか。(※自尊感情)	↑ 84%
⑦相手の気持ちを考えた話し方や行動をしていますか。	87%
⑧自分や友だちを大切にすること、命を大切にすること、いじめをしない(ゆるさない)ことに気を付けていますか。	94%
⑨進んで挨拶をしていますか。	↑ 96%
⑩時間を守って行動していますか。	93%
⑪あなたには、自分や友だちに困ったことがあるとき、相談できる人がいますか。	90%
⑫進んで運動に取り組んでいますか。	84%
⑬感染症予防のため、三密を避ける、手洗い、マスクを正しくつけることに気を付けていますか。	92%
⑭安全に気を付けて行動していますか。	96%
⑮地域の行事(祭りなど)や活動に進んで参加していますか。	72%
⑯学校生活が楽しいですか	90%

全体的にみると、上記のように肯定的な回答が多いという結果でした。以下、分析です。

- 『学校生活が楽しいですか。』の問いに対して、90%の子どもたちが「楽しい」と回答しています。しかし、反対に、残りの子どもたちが「そう思わない」「どちらかというと思わない」との意見であったことを真摯に受け止め、子どもたちが「今日も楽しかった。」「明日、行きたい。」と思える学校づくりを今後もめざします。
- 『進んであいさつをしていますか。』の問いに対して、昨年度に比べ大きく向上しています。毎日の地域

や保護者のみなさんの声かけ、児童会活動等を通して取り組んできたことによる成果かもしれません。

- すべての学校生活の基礎となる「自尊心」については、大きく向上しました。今後もしっかりと手立てを講じ、自分に自信がもてる子どもの育成に努めます。
- 低下したところは、「発表」と「読書習慣」のところです。今後も取組を継続していきます。

【「学校教育活動アンケート」(全保護者さんを対象にしています。)]

①お子さんは授業が分かりやすいと言っていますか。	↓ 76%
②お子さんは、進んで読書をしていますか。	49%
③お子さんは、学年×10分を目安に家庭学習(宿題や自主学習等)の習慣が身についていますか。	↑ 70%
④お子さんは、友だちを大切に、思いやる言動ができていますか。	94%
⑤お子さんは、家庭や地域などで進んであいさつをしていますか。	78%
⑥お子さんは、社会のルールやきまりを守る大切さを理解して行動していますか。	94%
⑦学校は、体育的な取組を通して、お子さんの体力向上を図っていますか。	87%
⑧保健指導や食育等を通して、お子さんの健康に関する意識を高めていますか。	↓ 89%
⑨学校は、安全指導や避難訓練等を通して、お子さんの安全に関する意識を高めていますか。	95%
⑩学校は、授業参観やたより(学校・学年・学級、保健)、ホームページなどを通して、情報を発信していますか。	95%

保護者のみなさまより、肯定的な意見をたくさんいただきました。保護者のみなさまからの本校へのあたたかい励ましと感謝しています。ありがとうございます。反対に、数値が低いところにつきましては、本校の取組の弱さです。真摯に受け止め、今後も引き続き取組を進めます。加えて、今年度も「わからない」と回答された方が何人かみえました。お子さんの様子や学校の取組等について、家庭訪問や電話連絡、懇談会、通信やホームページ等を通して、少しでも、お伝えできるようにしていきたいと考えています。

- 『お子さんは授業が分かりやすいと言っていますか。』の問いについて、76%しか肯定的な意見が無いということは、本校の弱さです。学校全体で教職員の指導力向上に努めるとともに、子どもたちがどこでつまづいているのかを各学年で再確認し、積み残しが無いように取り組みます。
- 昨年度に引き続き課題が残っているのは「読書」です。図書コーナーの開設や読書週間などを学校での取組は行ってきましたが、まだまだです。再度、全校教職員でしっかりと話をし、“本に親しむことができる子どもを育てるためにどのような手立てを講じていくのか”などについて考えていきます。
- 「健康」に関する意識の向上についても、とても大切なことです。保健指導や食育、道徳や学級活動の中でも、自分や友だちのからだやいのちのことなども含め、『いのちの大切さ』について考える機会をつくります。
- 「家庭学習」の習慣については向上しています。ご家庭での協力のおかげです。自主学習も含め、自ら学習に取り組む姿勢を身につけさせたいと考えています。ご協力お願いします。

この結果をしっかりと受け止め、3月末までの残りの日々、そして、令和5年度の教育活動へと生かしていきます。日頃から、お子さまのことで心配な点等がありましたら、いつでも遠慮なくお知らせください。